

令和6年三重県議会
9月定例会月会議

一般質問登壇!

新内閣に期待するもの!!



去る10月1日、三重県議会本会議において、昨年2月の代表質問以来、1年8か月振りに一般質問で登壇。

人口減少対策に期待!

質問 石破内閣総理大臣が新しく就任されたことをふまえ、三重県知事として新内閣に期待することについて、所見を問う。

知事答弁 東京一極集中の是正を含めた「人口減少対策の推進」をはじめ、災害対策の強化、半導体産業の振興など、地方創生を積極的に進め、強いリーダーシップを発揮し、スピード感と実行力を大いに期待する。

終戦八十年に思う!

質問 沖繩「三重の塔」での慰霊式の主催を三重県遺族会から三重県に引き継いでもらった。終戦八十年の思いを込めた沖繩「三重の塔」の整備の進捗について聞きたい。

部長答弁 沖繩「三重の塔」での慰霊式を三重県主催で開催することは、戦没者への思いを馳せ、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に継承していくうえで、重要なことと考える。終戦八十年という節目をとらえ、慰霊式を行う十分なスペースを確保し、バリアフリー化を図る大規模な整備を行っていききたい。今後、令和7年1月初旬に設計を完了し、令和7年11月初旬に整備済みの苑内で、終戦八十年となる慰霊式を開催できるように整備を進めていきたい。

2024年問題、働き方改革!

(1)生コンなどの主要資材高騰に伴う適切な積算、契約対応について
質問 主要資材の高騰に対してタイムラグなく発注・契約単価を実勢価格にすべきと考える。

部長答弁 工事発注時の生コンなどは、毎月調査し、最新単価を更新し、市場取引実績を確認し速やかに単価改訂に取り組んでいく。工事契約後は「単品スライド条項」や「インフレスライド条項」など状況に応じた単価変動に対する請負代金額の変更を行う。

た単価変動に対する請負代金額の変更を行う。

(2)落札決定時の仮契約から議決の本契約までのタイムラグについて
質問 公共工事における仮契約から数か月後の本契約までの期間に生じた資材価格の上昇等について、受注者の負担を軽減する対策が必要。

部長答弁 スライド条項は本契約後の物価上昇に適用するための条項で、今後この課題に対応できるように検討する。

(3)県庁舎等の設備管理業務委託の一般競争入札における最低制限価格の設定について
質問 県庁舎等の設備管理業務には、設備機器の保全だけでなく、エネルギー省エネ対策が求められる中、高騰する人件費の占める割合が大きいため、ダンピング防止などの観点から入札時における最低制限価格設定が不可欠。

部長答弁 今後は、関係部局に対し、最低制限価格制度について、あらためて周知し、適切に対応できるように働きかける。

発想の転換!

(1)本庁舎前もやはり駐車場の上屋について

質問 三重県庁舎前の駐車場に建築基準法上現在は、上屋を増築できないとなつていて、一方、障がい者団体から設置の要望がある。出来る方策へ、発想を転換すべき。

部長答弁 建築基準法上の制約の解消に努めるとともに、例えば既存の建物を活用するなど、同法の制約を受けない方法での対応も、幅広く検討していく。

能登半島からの教訓「命を守る」!

(1)伝統的木造建築物にかかる建築確認申請について

質問 能登半島地震では、耐震性の低い多くの伝統的木造建築物が公費解体されているが、命を救うための耐震改修の取組が重要。

部長答弁 来年4月から施行される改正建築基準法に合わせ、小規模伝統的木造建築物にかかる建築確認申請の取り扱いや、解釈・判断にばらつきが生じないように努める。

さまざまな議長公務報告!(No.3抜粋)

- ① 4月 1日: 議会事務局転入・昇任者発令式、新任部局長挨拶
- ② 4月 3日: 四日市大学入学式
- ③ 4月 5日: 三重県農業大学校入学式
- ④ 4月 6日: 華道家元池坊中部三県連合花展三重大会
- ⑤ 4月 7~8日: 三笠宮彬子女王殿下お成り
- ⑥ 4月 9日: 議長定例記者会見
- ⑦ 4月16日: 県民功労者表彰受章者との歓談
- ⑧ 4月18日: 衆議院法制局長面談(東京都)
- ⑨ 4月19日: 東海環状自動車道整備促進に関する岐阜県・三重県合同提言活動(東京都)
- ⑩ 4月21日: 三重県博物館10周年記念式典
- ⑪ 4月22日: 東海北陸7県議会議長会議(静岡県)
- ⑫ 4月23日: 靖国神社春季例大祭、英霊にこたえる会総会、登龍会(東京都、政務活動)
- ⑬ 4月24~25日: 石川県被災地現地調査(会派政務活動)
- ⑭ 4月30日: 伊賀管内事業説明会(政務活動)
- ⑮ 5月 1日: 春の叙勲伝達式
- ⑯ 5月 8日: 三重県議会代表者会議・議会運営委員会
- ⑰ 5月10日: 議長定例記者会見
- ⑱ 5月11日: 全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会(東京都、政務活動)
- ⑲ 5月13~15日: 代表者会議
- ⑳ 5月16日: 本会議(正副議長選挙)
- ㉑ 5月17日: 正副議長退任式、正副議長引継ぎ



三重県議会議員 中森博文 県政報告会 兼ねて

乱歩生誕130年記念講演会!!

とき/12月1日(日) 午後3時~4時30分頃(受付午後2時30分~)
場所/名張産業振興センターアスピア **入場無料**

乱歩トークショー 衆議院議員 川崎ひでと様



講師 講談師 玉田 玉秀斎様

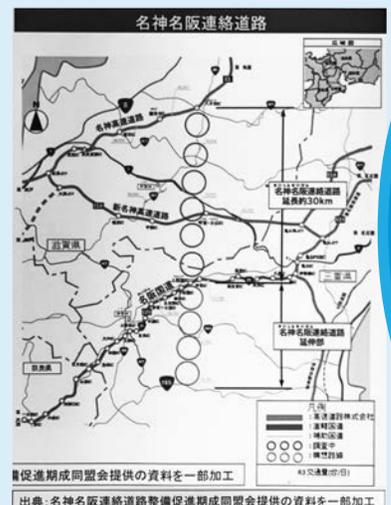
プロフィール.....
大阪市立大学法学部卒
2022年 三重大学大学院・人文社会学研究科修了
2024年 和歌山大学大学院・観光研究科博士課程入学
忍者研究家、講談師、朝ドラ「わろてんか」他出演

お問合せ先: 中森博文事務所 TEL.0595-65-0298

未来をつなぐ!

名神名阪連絡道路のルート決定へ!!

年内には、第2回「名神名阪連絡道路有識者委員会」を予定しており、早期実現に向けて計画の熟度を上げていく。



国道368号4車線化!!

名張市内は伊賀市方面に進めていく。

伊賀市内は大内橋までの令和7年度工事完成後、名阪国道上野ICまでの4車線化を進めていく。



一般県道上笠間八幡名張線!!

引き続きバイパス整備を進め、名張川右岸側は令和7年度の工事着手に向け用地買収を進める。



常任委員会・議員政務活動!

①政策企画雇用経済観光常任委員会県内調査!

去る7月25日、三重県議会政策企画雇用経済観光常任委員会委員として、四日市市の㈱三十三総研を訪問し、中小企業の経営者への支援、観光地づくり、地方創生に向けた事業者支援の取組を調査した。続いて、伊勢市議会を訪問し、観光危機管理、観光地における混雑対策を含めた観光振興の取組など、関係者との意見交換や現地調査を実施した。



伊勢市議会

②石川県議会行政視察

去る8月1～2日、石川県議会を訪問し、能登半島地震における被害状況や復興プランなどの説明を受け、内灘町の液化化被害状況を現地調査し、4月にオープンした「いしかわ動物愛護センター」を、7月にオープンした「石川県森林公園屋内木育施設」を視察。昨年度の東海北陸7県議会議長らで構成する「昇龍道の会」を発足し、翌日は来館者数全国2位の「石川県立図書館」を視察した。



石川県議会議長面談



いしかわ動物愛護センター

③三重県議会自由民主党会派研修

去る9月4～6日、北海道庁を訪問し、半導体産業における「北海道バレー構想」、農業学習施設「クボタアグリフロント」、「エスコンフィールドHOKKAIDO」スタジアムツアー、夜間中学校の「札幌市星友館中学校」での夜間授業を見学、北海道大学「スマート農業教育センター」などで研修並びに現地調査をした。



北海道議会議長面談



スマート農業体験

④「三重テラスin大阪」現地調査

去る10月10日の阪急大阪梅田駅会場と、10月17日の新大阪2階アルデひろば会場で、開催の「三重テラスin大阪」を訪問し、来る「大阪関西万博」に向けた、県産品や観光情報等、三重県のPRの取組について現地調査をした。



阪急大阪梅田駅



新大阪アルデひろば

沖つ藻の隠から

終戦八十年記念文集
三重県議会議員 中森 博文

誰しもが当たり前のように、安全で安心して暮らせる平和が続き、世界に冠たる繁栄を享受する今日、日本は終戦八十年を迎えようとしています。

一方、先の大戦に於いて、我が国の独立や平和を守る為に散華されたあまたのご英霊の願いも空しく、祖国日本の現状は、人口減少社会が到来し、国際情勢の悪化など戦後最大の試練の時を迎えています。

このたび、私が住まいする 沖つ藻の隠(名張)から、英霊にこたえる会三重県本部会長であり、三重県護国神社責任役員並びに県議会議員として筆を執らせていただきました。

さて、この機会に私の実家にある我が祖父の記した手記を改めて精読しました。戦争の時代を生きた祖父の感じたこと、出来事をありのままに綴られているため、その一端をご紹介します。

実祖父の手記「近一の思い出」より抜粋引用(原文尊重)

(実祖父：樫森近一、明治二十二年八月二十六日生、美濃波多村(現名張市美旗地区)昭和十三年収入役、十九年助役、二十二年村長當選、二十六年名張町に合併まで村長、二十九年名張市制発足時後美旗地区区長幹事、三十四年老人クラブ発足会長に就任、四十八年九月歿行年満八十四才)

昭和十七年四月九日、大東亜戦争酷となり大本營の発表はわが軍の戦闘は非常に有利にあるが、國內於いてはすべて凡ての物資欠乏を訴え石油ガソリンは無論食糧は統制せられ、衣料はチケット制となり古着まで高價に取引される有様である。

俺の一番困ったのは酒である。酒と煙草も皆制限せられ不自由上もなし。

昭和十七年四月二六日、米軍飛行機日本本土上空を初めて飛来す。(中略)

昭和十九年四月美濃波多村助役に就任す。時恰も大東亜戦争の最中に役場事務も不雑多岐に亘り、特に兵事事務について非常に困った。

大東亜戦争酷となり、敵機の襲来はげしく、軍事施設は勿論大都市から小市街まで敵機の爆撃にあい、至毎火災を起こし、わが美濃波多村(現名張市美旗地区)も攻撃の目標となり新田(現名張市新田)の西部にしよう焼いだん威弾の投下あり、たちまち忽ち火の海と化して、(中略)合計五十六棟を全焼す。続いて近鉄美旗駅を襲撃せられ、停車中の電車に銃撃を加えられ、乗客の内重傷者拾九名死者七名を出せり、此時伊賀線上空に飛来せる米軍艦上機は無謀なる射撃により〇〇氏の二女〇〇さんを撃ち出血大量の為遂に死亡せる悲報あり實にさんたん惨憺たるものあり。(中略)

大東亜戦に從軍中の二男 ひろし弘 戦死の報に接す。戦死の公報文左の通り、海軍上等兵曹 樫森 弘 大東亜戦争に從軍、昭和二十年六月一日比島沖にて、巡洋艦赤城沈没、マスマテ島に上陸、米軍と交戦中戦死す(行年二七才) 以上であります。

戦後、我が実家では親族会議で、未亡人となった叔母を再婚のため奈良県へ嫁がせ、傷痍軍人で帰還した実父(陸軍曹長、マニラで從軍)と嫁いでいた実母(昭和二十年十月婚姻、二十一年十一月第一子が戦後動乱で病死)は、実家(樫森家)で生計するにいたりました。実父からは、戦争の悲惨さや厳しい戦場環境の言葉は少なく、むしろ戦時中流行った「しりとり歌」や「陸軍ラッパの替え歌」などの話をしてくれたことが印象に残っています。

※後述参照
実父はマラリアを患っており、年に何回かあった震えの発作に布団をかぶせ、震えが治るまで上から押さえたことを覚えています。実父は後遺症から脳卒中による半身不随や糖尿病などの病と闘いつつ平成二年他界しました。

さて、私は昭和五十一年十二月縁あって現在の中森家の養子となりましたが、婚姻先の中森家も遺族の家庭でありました。妻の父の兄(なかもり中森よしかず嘉一、大正八年七月生)も昭和十五年一月現役歩兵として出兵、支那派遣軍百武部隊尾本部志賀隊に入隊、同年三月に衛生兵を修習し中華民国山西省平定縣陽泉陸軍病院に從軍。矢島登部隊中佐より、独立歩兵第十四大隊陸軍衛生一等兵は同年六月十三日、入院重篤患者の輸血に自らの血液を提供し、同年七月に模範として表彰されました。

昭和十六年八月二十一日午後六時、壽陽縣大落坡近敵前五十米において胸部貫通銃創烈戦死。故陸軍衛生上等兵勲八等功七級 中森嘉一、行年二十二歳。中部三部隊合同告別祭後、遺骨遺品帰郷、二十一日学校庭で村葬されました。

終戦の翌年、昭和二十一年年頭、昭和天皇は、冒頭に「五箇条のご誓文」を掲げられ、敗戦の廢墟の中、家族や家を失い、未だ心の傷の癒えぬ国民を励まされるべく、いわゆる「年頭の詔書」を發せられました。目的は、実は五箇条の御誓文を国民に示すことにあり、日本の国民が占領軍による思想攻撃に対し圧迫されることがないように、日本の歴史と誇りを忘れないように希望されました。

最後に、父中森茂は、地区遺族会・名張市遺族会会長や三重縣護国神社責任役員を歴任させていただきました。その故もあり、私は県議會議員に就任以来、英霊にこたえる会や三重縣護国神社責任役員として、活動の機会をいただき現在に至っています。

そこで現在、先の大戦で犠牲となられた全ての三重県民、約五万三千柱を慰霊する、沖繩「三重の塔」の再整備や、記念事業の実施を、県にお願いさせていただいているところです。いま改めて、先の大戦がどのようなものであったかを考えると同時に、戦没者へ思いを馳せ、戦争の悲惨さと平和の尊さに併せ、日本の歴史と誇りを次世代に継承していかなければならないと思います。

祖父の手記 英霊にこたえる 夏の花

合掌

※1. 戦時中に流行った「しりとり歌」

① 陸軍の、乃木さんが、凱旋す、スズメ、メジロ、ロシヤ、野蠻国、クロバトキン、金だるま、まわーし、しめた、高じゃっぼん、ボン屋売り、陸軍の、...

② 李鴻章(リーコージョウ)の売げ頭、満州鉄砲で〇〇し、支那の〇〇つ、恒木誌(つねきし)軍艦乗りこんで、電信電話は便利なり、李鴻章の、...

2. 「陸軍ラッパの替え歌」

① 起床ラッパ: 起きろよ! 起きろよ! 皆起きろ! 起きないと隊長さんに叱られる〜

② 就寝ラッパ: 兵隊さんはつらいよねー。また寝て泣くのかよー。

去る10月5日、地震の神が祀られる名張市下比奈知「名居神社」に参列し、奉祝祭に参列し、地域関係者と意見交換など現地調査をした。



去る9月28、29日、佐賀県神埼市で開催された佐賀国スボ剣道競技大会に参加した。隣接する佐賀県「吉野ヶ里歴史公園」を視察し、史公園関係者と歴史文化政策や観光政策などについて意見交換するとともに、各遺跡や展示館などの現地調査を実施した。



去る9月7日、名張小学校に隣接する万葉に於ける養塔の前で執り行われた「天正しぐれ供養」に参列し、當時を偲びつつ「天正乱れ太鼓」が奉納された。



去る7月29日、第10回日台交流サミットin台南に参加し、台南市議会や出席関係者など日台友好関係に関する意見交換を実施した。現地調査を次の開催予定に録倉市が決定された。



去る9月29日、日台交流サミットin台南に参加し、台南市議会や出席関係者など日台友好関係に関する意見交換を実施した。現地調査を次の開催予定に録倉市が決定された。

率先実行!

メッセージ
引き続き「県政なんでも相談室」を開設しております。地域や団体の課題をお聞かせください。また、気軽にお立ち寄りください。

中森博文事務所
TEL・FAX 65-0298
Email: hirofumi@nava21.ne.jp
https://www.nakamori-hirofumi.jp

届けようあなたの声を!
広聴・広報委員会

声 「三重県議会の会派構成」について知りたいのですか?

答 三重県議會議員の総定数は、昨年4月から3人減の48人となりましたが、本年11月から2名辞職のため46人となっています。第1会派自由民主党20人、第2会派新政みえ20人、第3会派草莽3人(自民2、無所属1)次いで公明党2人、共産党1人となっています。自公24人、立憲国民系20人、共産1人、無所属1人。

インターネットで本議会や委員会の中継を配信し、みえ県議会だよりにおいて「届けようあなたの声を県議会」と銘打って広聴に取り組んでいます。

誠心誠意
三重県議會議員 中森 博文

秋 冷の候の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。第45回目の「博愛」を発行し、県政報告をさせていただきます。さて昨年4月の選挙後の5月12日、第113代三重県議會議長就任以来、あっという間に一年が経過し、本年5月の議会で退任する運びとなりました。また、全国都道府県議会議長会副会長公務のおかげで、全国都道府県議会の多く議長とも親しくさせていただき、貴重な経験を賜りました。特に、今年の元日に発生した能登半島地震における対応や、岸田前総理をはじめ各大臣にも面談させていただき機会を得ました。この貴重な経験を今後の県政に生かしてまいります。またこの8月には東海北陸7県議會議長らのメンバーで、新たに「昇龍道の会」を発足し、さらに連携交流の場を作ることになりました。そして、これまで通り各関係団体や各地域からの課題や要望など、県民にとって必要な政策提言や予算確保に取り組むとともに、名張市選出県議會議員としての責務を果たしつつ、三重県政発展に、微力ながら「誠心誠意」努力してまいります。気候の変わり目です。どうぞ、みなさまご自愛ください。